

# JFA2005 年宣言

2005.1.1



## JFA2005 年宣言の推進

世界を目指す JFA  
オンザピッチ、オフザピッチ  
サッカー、スポーツを文化に

## 2022 年理事・委員長選考の考え方

### 次期任期における方針と課題

- 1) サッカー 代表強化、育成、指導者養成、グラスルーツの見直し  
サッカー、スポーツの本質、価値の理解  
世界を目指した最適なサッカーカレンダーの作成  
年間を通してサッカーをできる環境づくり  
Jリーグ シーズン制の再検討  
国際基準の指導者、レフェリーの養成戦略
- 2) コロナ禍における財政ダメージの回復 運営の効率化  
JFA ハウスの有効活用  
予算の効率的配分と再投資  
働き方改革、人事戦略  
中期計画と連動した事業仕分け、予算の効率的な活用
- 3) 2 年後に向けたガバナンスコードの遵守と JFA 規程の適用  
FIFA と連携した新たな JFA のあり方
  - ・ 女性理事
  - ・ 外部理事
  - ・ 8 年ルール2020 年にスポーツ庁により承認され、4 年の猶予期間（2023 年まで）がある
- 4) 登録制度改革  
登録人数減少の歯止め  
アプリ等を利用した登録者数の拡大→生涯登録、パートナーとの連携  
マーケティングとファンエンゲージメント戦略推進  
メンバーシップ制度の啓発  
メンバーシップ制度と登録制度の整理  
ダイバーシティ
- 5) 47FA のサポートと Jリーグ/WE リーグとの連携  
アマチュアサッカーとプロフェッショナルサッカーの協働  
登録制度整備と連携した、シニア、女子サッカーの拡大
- 6) 継続性と新人の登用 統括団体としての責任  
サッカーの政府機能としてガバナンス・コンプライアンスの整備、徹底  
各種委員会委員長の後継者育成、新人登用  
各委員会の機能整備  
47FA、9RA、各種連盟、リーグのガバナンス・コンプライアンスの整備、徹底  
ポスト 100 周年、次の 100 年に向けた戦略作成

以上の内容を考慮し、次期理事、監事、委員会委員長を決定する。